皇軍に對する

院兵の覺悟につき嚴に訓示すると 原式の宣揚を長期持久に處すべき の直接を式場に集合せしめ、 一个後における軍紀候刷による皇軍 一人後における軍紀候刷による皇軍 「南京七日發國通」、松井最高指揮官

か列展が蔣政権を援けて 大の別と、 大のと、 、のと、 大のと、 、のと、 、

て對日長期抗戦を策せしめても会にしてもなどいふことを前提としてはお答へ出来ない、各國とも会れかくの立場で考別に日本に反抗させてるるといふことはない、例へるといることはない。例へるといることはない。例へ

である。たまり職は商賣人である。たまり職は商賣人である。たまり職は商賣人である。たまり職は商賣人のない関であるからこればたま語外越る前次日本の行動に高賣人をとれて差支へないやうだ、 大き話外越る前次日本の行動をとれてきな仕事の使命

得ない立場になると思ふが 関ない立場になると思ふが がよ高資人も次第になくな つて来ると思ふ、わが的と に反した態度に出でざるや ら外交手段として腎來一層 ら外交手段として腎來一層 の努力の必要を感じてゐる

洲重工

業開

發會社

國聯

合準備銀行

## 

八

# 器援助

日 

廣 田 外

辯答の相

級、外國地質の 撤保の割引或は一彩の割引

中国聯合連備銀行 中国聯合連備銀行 に関する事務を経理 中国聯合連備銀行 に関する事務を経理

王行政委員長 談

明した

新

移

轉

披

露

業致しました屋内は數室の小座敷を天ぶ 上ます厳寒の折柄各位益々御清祥の段御嬉び申 装中の處漸く完成致しましたので移轉開 扱而弊店儀格別の組贔負に預り御蔭様に て從來の場所にては狹溢の爲新樂家屋改

天 5 ら定 食さ

東京大阪すしの立食

折

第二條 中國聯合準備銀行は 整立する 第三條 中國聯合連備銀行は 第三條 中國聯合連備銀行は

滿重問題

▲木寨格之氏(同)同大都中 ●整別周作氏(同)同 ●整別周作氏(同)同

世外震氏(官吏) 同國際 ポポテル

一吉氏(官吏)同

心議題に

昨日の豫算第四分科會

八日午前零

創立總會開催

日開業

に関しては目下就意考究され に関しては目下就意考究され に関しては目下就意考究され 自動車、流行機工業の具體的 計畫については米國よりの資 金導入の件が片づいてから決 定されることであるが、その 結果如何を問題外として決定 し得る範圍に於て現在左の如 く子會社關係の計量が樹てら

△石炭礦業 勿論現在の 満炭を主體として生産を進 あちる 一人特殊金屬工業 飛行機、自動車その他軍事上の 必要から特殊金屬の需要が が感されてあるので昭和製 個において特殊館の生産に 通りなると同時に満洲種金

△ 機 州工業 常然相名大 規模の機械工築を興するの と確想されてあるが、目下 計畫中のものとしては日立 製作所の子會社として活開 日立の誕生を見んとして活開 となつてゐる。 あい、これを編業の直接の子 会社にするか否か目下問題

都ホテル(軍容城道)同

國資本導入ビ別個に考慮

胆計畫進む

是非御利用下さい

御會食に…

御家族連れに

何卒倍舊の御引立を願ます必ず皆樣の御滿足を得るものと存じます

ら、すしの立食近代的設備を誇るホール

に調味は各一流調理師の自慢の包刀…

加銀行より折半出資する、政府持分の千二百五十萬元はわ所建するに決定し、また立り融資するに決定し、また立り融資計出資額期常は大體だ 

中国聯合準中国聯合準

「北京七日愛園通」中國聯合 に関家の金融代理機關ではなく名實共 に関家の金融中櫃として新法 に関家の金融中櫃として新法 に関家の金融の統制を目的とする各種 銀行業務を替むすので、流鏡 での特色としては左の諸戯が

原文長 運営上に支障ないが、 を新舎社に本職するが、 を新舎社ので東工業部門完成 ではからふ考へだ、日満駒関 はからふ考へだ、日満駒関 ではからからなが、日満駒関 ではからからなが、 ではからからなが、 ではからからなが、 ではからからなが、 ではからからなが、 ではからからなが、 ではからなが、 ではからなが、 ではからなが、 ではからなが、 ではないかが、 ではないかが、 ではないかが、 ではないかが、 ではないかが、 ではないかが、 ではないかが、 ではないかが、 ではないかが、 ではないからなが、 ではないからなが、 ではないからなが、 ではないからなが、 ではないからなが、 ではないからなが、 ではないからなが、 ではないが、 ではないが、

(数及び金については夫々元ケケキ計畫で昭和十六年度に於ては現在の約二倍の輸出が可能である)

ては夫々五ケ

を残し重工業部門に伴び減嫌が鎌道に乗び減嫌が緩道 が趣旨に沿ふ標がある生産資公別して成るべいない。

術戲泊湖水刀配氣 **建設**斯長 滿洲國人事

後藤 丁 設局拔正

別州生げるドを走らすか でせる

力も要らん

来よう、園民政府打倒に他やがては叛亂となつて現れ

それでもな住阪省しない

新京吉野町二丁目(丸美屋横)

出前

11

迅

速に

御

屆

IJ

致えせず

持表

往來

何とかのステップ 難ならぬ 職進的散勢とあれば我会の

程間を見目に を関いた。 を関いて、 を関いて、 を関いて、 を関いて、 を関いて、 を表して、 と、 と、 を表して、 と、 を表して、 と、 を表して、 をまして、 をもて、 をもて、 をもて、 をもて、 をもて、 をもて、 をもて をもて、 をもて、 をもて、 をもて をもて、 をもて をもて をもて をもて をもて をもて をもて

電話三一三五三五番

が學校に於て實施する事項はれた學訓することを決定したな學訓することを決定した

天照祭制定請願

顧天小學校の催

大会職、訓令決定 は東京関語)政府は七日正午 首相少除く各閣僚出席来る十 一日憲法發布五十周年記念式 典に際し捧呈すべき祝調並に 全國民及び官吏に對する告論 を図民及び官吏に對する告論 を図民及び官吏に對する告論

温突の焚き過ぎて

二名窒息死亡

一成典を盛大に行ふこととなつ 二時着あじるにおいて憲法發布五十周年の 北浦方面観察に對する実彰を行つて関民的 副官編船参談 司令官谷本馬の 北浦方面観察

副官編新参謀を帶同八日午後司令官谷本馬太郎少将は村井

谷本司令官

新京神社の

紀元節祭

は來る十一

鮮農移民

田辯護士夫人

暴漢に襲はる

版に速進される 関民各位の本分に 関民名位の本分に はの本分に はの本分に はの本分に はの本分に はの本分に はの本分に はの本分に はの本分に はの本分に

犯人不明首警搜査に大活動

廿二日

から移植開始

けて街頭かれて街頭か

## 不社が募集<br /> した馬糞袋を 全馬車につける

な、他は相撲、また原野被 が、他は相撲、選問中毎別九 株中零行 六、愛國標舗券、選問中毎別九 株中零行 外に學校長の講演。十二日に は各學級毎に僚任訓導の國民 動等を張調する

强調週間最後に國民精神總動員

市民拜賀式

から多事官々邸で

第一、紀元節率拜式……十四日 一、海神動杯語、諡書……十 四日……中七日、この日一 三、講演と映谲の會……十五 日 ……南嶺駐屯部除より講 治者を招聘、映畵は適宜の ものをえらび、この會は尋 で、講社參拜、代表をえらび、この會は尋 で、神社參拜、代表をえらび、この會は尋 第二回國民精神總面員强調週間は十一日の建國祭上り一週間は十一日の建國祭上り一週間は十一日の建國祭上り一週日本記、新京聯合會では同週間の最終上方在北上、計畫に基立實施する。 一次で男子社員詩吟、劍絲大會、全社員の愛國運動が大會、全社員の愛國運動と、一週級民精神總面員經濟。 

大同、太原へと泉軍の進軍に大同、太原へと泉軍の進軍に在とくその任務を選行した姿設立をみることとなった民間が信會社の設立とともに軍事が便事務を軍通信部に引継ぎる誤及は八日正午より日滅軍と登場に一行三十餘名を招待

郵政講習所

西南の物質 騰貴やまず

「清南七日融國通」清南にお を建せでなく大陸事變前に比 ・ 大変が関ニ車で一般の需要を充 ・ 大き方面より今日まで ・ 大き方面より今日まで ・ 大き方面より今日まで ・ 大き方面より今日まで ・ 大き方面より今日まで ・ 大き方面より今日まで ・ 大き一般の需要を充 ・ 大き一般の一方と ・ 大き一を ・ 大き一般の一一を ・ 大き一般の一一を ・ 大き一を ・ 大 概数は一月 高ありわが二萬 高ありわが二萬 宣撫や討り

府の軍験又は有給自開京路落以來これら開京路落以來に北急激に増

の入所式を奉行し

鷹の明朗化及び支援住民の宣

れが静展に協力を興へつ

優秀品入荷

清

泰天驛食堂の

既に十萬に上る北支歸順匪急増

日發調通・北支各地間地の数は十萬に上間地の数は十萬に上が討伐で撃退されたが討伐で撃退されたが討伐で撃退されたが討伐で撃退されたが討伐で撃退されたが高に上してゐるものか入

車をはじめ原稿内食堂

「逍絶局では味覺による業谷

ームを擴張

店 に 経験ある者 市内に確實なる保証人を要土市内に確實なる保証人を要土市内に確實なる保証人を要土 新京大馬野四九

武道院設立建議

をなし、一度に二百人位の計 でなし、一度に二百人位の計 でなし、一度に二百人位の計 でなし、一度に二百人位の計 でなし、一度に二百人位の計 でなし、一度に二百人位の計 でなし、一度に二百人位の計 で、なほ右工事完了後は満支 に、なほ右工事完了後は満支 の料理を積込る旅行者の舌を 込んでゐる

祭廳新築 齊人哈爾醬 北賴治安

| 漢算二十八葉圓二ケ年機械事を感ずるにいたつたので今回 ふ人員の膨脹と管掌範圍の

Bのため選進すべき 対しその本分に則

とになり敷地を物色中であつ

大 專門部 農藥組織科 (新數) (以神経難)

四四月三十日 月月二十日 日日

期待の赤線 不味美味? 麻雀同業組合も

運が態よ漲り古來の こして日本國内には尙武の機【東京國通】支那事變を契機

面に撃つてゐる折柄、此に復興すべしとの叫びが とゝなつた、建議案とし出、近くその質現を捌す

を ことを決議し事の神聖な娛樂 を一般國民に 定した 機勝として善隠することに決 意義を回顧せ 時局に鑑み更 時局に鑑み更 で 関リケ大政

里に一層憲法の趣

金デ

ラーデン ことれ三(三)層 温央中

酒に現はす筈である
酒に現はす筈である 佛從軍記者來京

体機と観察の表定 ・時間の単で変成ヤマトキテルに投稿十五日まで潜在関都 ・ルに投稿十五日まで潜在関都

特許銅銭製經量庫一式

一特務兵の善行 和金全部を獻金

金

和十三年二月八日

名古屋市中區末廣町電中六二

ふから開く

め機能五年度各者豪榮陽係科 工が年計畫の建行及び模徳五 金剛第官論に萬金を期するた

、大田 調示、大田 調示、大田 源地五年度後 、機器事項 東地五年度後 、農務司長指示、 、農務司長指示 、農務司長指示 、農務司長指示 、農務司長指示

(五)地方行政機構の整備 (五)地方行政機構の整備 (五)地方行政機構の整備

握の具體的方策如啓蒙訓練並に民心

ン農学政策登行上農民 ・農林副家の現状並に ・農林副家の現状並に ・農林副家の現状並に

五ケ年計畫の變更で

【東京図通】政府は來る十一

を學行

カロ煙罐々と噴出すを隣家の ユニー (三の) 方炊事夫室よ (三〇) 方炊事夫室よ (三〇) 方炊事夫室よ (三分金(三〇) 方炊事夫室よ

國民的祝典

産業部体制整ふ

けふから産業關係科長會議

おおり 日本部 19月

合身の設立をみた、同委員會 防自治機關たる曹家渡路會聯 懲兵の指導強助の下に純商衆

今朝永樂町三丁目の火事騒ぎ | 海爽の黄き過ぎに極突の不容が成見火災だと大騒ぎとな

つ道、銃剣、唐手等武道で民の監理に属し、側道、三 に養するを目的としてゐる振興をはかり國民精神の昻 上海支那商人 日本依存 音會設立さる

『上海七日 酸國通』上海の治 本依在の傾向は顯著であるが 本依在の傾向は顯著であるが の程間際關係が複雑を極めて

あす (九日)

て関係者を取調べ

**●音訓指導員調養會、四道指** 曹年訓練所

見よ!連日の盛況を 聽け嵐の如き絶讃を

し逃見か非是でま日十八郎

香ふばし 題領事代班 榮峰白尾

いほうじ茶……大石素店 视町太子堂前 皇三、六号二七章

多つで居ります

小ころが

通六〇 戸田鐵工所へ 一場所 東三條通六〇 で用は **言釋Ⅲ雅密学之前** 電話③六六四三番

、見智コフクニ名事は

新京費山百貨店前 第五五〇一番

電話②同七六八番

犬の附屬品入荷

卅五圓より二百圓 六 倍——十二倍

EX

個より四十**個** 

ブリズム

下を失い易き日注意せよ 内と丁が吉 の人 鯉を逃がし鎌魚 でし外に在ては不利 でし外に在ては不利



英映畵俳優の

雅 舟 戶 松 川 高 本 本 本 本 本 表 表 表 表 表 表

劇

育議」を凌ぐ 情議」を凌ぐ 食様を細緻「家族」を を放う男性對女性」 を放う男性對女性」 を放う男性對女性」 を放うのでである。 を放うのである。 ででは、 ででででが、 でででは、 ででは

(卷の綠) (卷の朱)

兵鐵岡片·作原 津島督監 郎次保 主演する 阪京 高杉早 H 聞 連

映競。作力。畵邦:作傑。畵洋

! 録記の士行飛たつ護を空れ仆に彈兇の匪土! れ護を空のラハサ



ワルヤシリ・ルーエセ

品作特超ネシ・ンパ西蘭

土道的精神美の 外人部の 感激 隊な 1, 見空よの

てアフリカ大陸を貫く身を一葉の機體に托し 烽起!

低空を飛ぶな! が合言葉だ彼等は任務 の前に唯命も賭ける機 恐る なき砂の海 ~ き土匪 0

10 Person 112 作原。

松竹文藝超特作品 清督監 **埃高佐桑** 本峰分野 、近衛敏明、奈良眞養 主 演

文壇の大御所菊地寛氏が雑誌「婦 を魅了し去った戀愛と生活の設設 を魅了し去った戀愛と生活の設設 十三年度家庭心覧の名書一 く御覧下さい! 日も早

**刃封日** 



金

上

錢

十時五十分より開映平日十二時・日曜・祭日

下

ス



(3)

六三 六四 八二香香 た では原料補給に充つべく事家 ・ 生産を見ることになつてゐる

社となった、製品としてはボースで大きの代表的なもので、一次記公司を合併し、事變前に 水泥公司を合併し、事變前に 水泥公司を合併し、事變前に

會を開催

## 貿易業態を調査

の下 として総出振興の動象と目さの下 として総出振興の動象と目されるもの) (権人領五百萬國以上の中税 管組織ならびに營業の形態に 其要質 関する調査および収引の態線 配する調査および収引の態線 配する調査ならびに金融関係に関す 要なようがに金融関係に関する方法はよる事項をも併せて調査する方よのである

近代的諸工業

各地商品市况

番のパ四二回露 向スルパ銀二町紀

なかく、骨ですななかく、骨ですない。あずこの標準ですか 一出來るだけ、思 し、普通では築め

かって失敗したんですよー-一度極敏があるから、大丈夫

が、全点が四角い感じの恐らく、酸られても、はられても、はられても、酸られても、酸られても。といいだらう。 ははれる。無表情な略を持つてあた。 

て、自分がつぶれてしまふやいごをつぶすつもりで、取つ

原案よ・0・ピナドー文庫部

監 富 岡 敦 雄

兼開未曾有のスタフフ、湯仰の名鰡

に、わけはありませんよ」 が病気で解が主にやつてある いっこうですから、つぶすのはな

こつぶやいて、健康か、考に妖しく光つていつて、健康か、考 ついいちめてい 「何にしても、このまとには いちめてやるかの油谷を

サ工業、製紙工業等近代工業 ・地変近代工業の代表的なもの ・地変近代工業の代表的なもの ・大変がであるが

祭 蘇 鐘 一 以 らしいです」 『さういふつもりてヤって ---在作 

るのだらう

地上

春

0

東京株式 (豆豆)

205 4.0. 1.10 二日間

1.2 4.17 7.11 7.3 夢 1044 4.08 東 0 8.4 10.0 ど ん 店 日曜は十号五十分 より花束の夢・映 2.54 5.48 底 12.0 四日より 階下八十錢

流行の他語の伊達男 子る問題作 見

新婚玉爭箱	11.40	2.53	6.07	9•22 10•17
事變ニュース	1.42	4.57	8 • 12	
昇る太陽(後篇)	2.05	5-20	8.35	
七日より九日まで	FAF	FE	- 4-	48



っちの女房にや ある 12-60 2-40 5-20 8-00 1-15 3-55 6-35 9-15 六日より入日まで 階下四十餘

江。 伏見信子

伊

信子

達

重に正

小林干夜子

関事製ニュニス 1-81 4-26 7-21 題名の 1451 4.45 7.41 リオテンベルタの祭 12-01 2-5 5-34 8-45 12e2: 3416 6e18 10e18

可愛心膜

0

J. O. スタジオ ·ピクター協同大作

一郎

藤山

新京本本文

濡れてばめ

大 12.86 8.55 6.40 = 1 -白ばらは咲けど 12.40 3.48 6.50 南國太平記 2000 5000 802 日曜十一時より 一階下四十銭

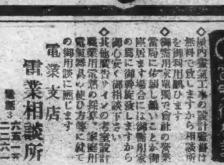
映画御東内 豐樂馴場





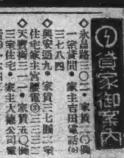








北岩田 電話 二〇町



「行ってゐる?」

丸の實物を買集め ふこさだったが

その低片を火に焼

ーではさういふ たが、お人は、こわから、外

でした速水公平は でいる同僚の壁に、れへ戻 でいる同僚の壁に、れへ戻 ことちらは生験の大麻ですが

ころへ行ってから、大庭東域のさ 老輪な笑ひを笑っ それで同じ時期 十二時だ。めし 概念あはせて 2-27 5-17 8 .07

『調整米の

悪し返しはさうて

がいれますより

眼

って解験を

鉛管で紙を持ちあ

6-10 10-5

三十段

やか

あんたが、いま北端では一番 『いや、貴かのかが上手です [Hanal

をれが、一番手の取るいかない。 をれが、一番手の取る

だろ

人か三人ひつかり

温品

ら、一芝居を打つ



をとる方針である
の助共の事業内容、補数と新食配
の動物とある。さらにドイッとの
の関係等について、また日中
報子の他のを検を行ってある
の知き名様を行っているに対しだ山陸相に大要左
の知き名様をなる、北支、中
を検げるる様力の下
を検ばるを対した山陸相に大要左
の知き名様をなる。北支、中
で、また日中
である
では、また日中
では、また日中
では、また日中
では、また日中
である
では、また日中
では、また日中
では、また日中
では、また日中
では、また日中
では、また日中
では、また日
では、また日中
である
では、また日中
では、また日
では、また日中
では、また日
で

職到底下、北か統主め社と ( ) を ( )

衆議院各分科會

(日 電 水)-

財政は、Amanの開光全省に著く膠湾の ・監査をしく経進山東建設の歩い のに華々しく経進山東建設の歩い のに華々しく経進山東建設の歩い のに華々しく経進山東建設の歩い

ロンドン七日漫園通 イ・ ・ 科事に鑑み英國政府は今後地 ・ 中海の警備を断然嚴重にする不 ・ 日強硬態度を左の如く要明し た

**人速部隊歸還** 

江北作戦に意氣軒昂

乗に際しての恩敵奏請に励し ・ の他一切を正式に決定する を拜したので、九日院内に陸 を拜したので、九日院内に陸 を拜したので、九日院内に陸 を利したので、九日院内に陸 を利したので、九日院内に陸

【東京國通】政府は張る十

恩赦奏請

けふ院内臨時閣 蔵で手續決定

|二日貴院へ廻附(衆院)

生氏の意見

側と

に迫る

敵の遺棄死體七千

錯綜地帶

に卓拔な戦果

時政 司令官を訪問の後屬京し、杉中で 顧川就任に願し正式に諸否の中で 顧川就任に願し正式に諸否の中で 顧川就任に願し正式に諸否の中で 顧川就任に願し正式に諸否の一下。 「「解しては」 一、 「「にか」はいす語・治績をきにか」はいす語・治績をきにか」はいす語・治績をきにか」はいす語・治績をきにか」はいす語・治績を

歌京に赴き植田関東軍

一、 臨時政府は成立日な任海 きにかいはらす罵き者指を きにかいはらす罵き者指を きにかいはらす罵き着精を

【香港八日發國通】

【蚌埠八日發酵通】八日午前 対・場○○部駿競表=去る二日 後二時准河を敵前渡河しで懐 宮部騰及び濱尾部隊は三日午 後二時准河を敵前渡河しで懐

潜水艦發見し去

容赦なく

\*

、撃す

懐遠城を占領

### を席卷 44

【頁二十刊夕朝紙本】

六四五/

肛門病科

(東京機道) (東京権道) (東京権道) (東京権道) (東京権道) (東京権道) (東京権道) (東京権道) (東京権) (東京権) (東

大連兆を撮影

「上海八日愛國油」 艦鞍接道部八日午後五時發表=海軍航 空監は八日僕口及び宜昌飛行 空監は八日獲回及び宜昌飛行

南樂を占領

るない。 なならぬ。 なはならぬ。 を受けて沈らしたが此事質 を受けて沈らしたが此事質 を受けて沈らしたが此事質 を受けて沈らしたが此事質 を受けて沈らしたが此事質 を受けて沈らしたが此事質 を受けて沈らしたが此事質 を受けて沈らしたが此事質 公債委員會 漢口、宜昌を

ト院で言明 

對しかゝる無理な処理をからしてゐなければ如何なるまと類強しやうと勝手であるにもかゝはちず英米が日本 る危險をすら生するので ならす▼却つて軍機を加 ならす▼却つて軍機を加 はざる質的制限は軍の

デターの勃起は余漢深、 を増援して厳滅せしめて 力級動を類りに行ひ特に 心流の助備については一 を増援して厳滅せしめで して酸減せしめてゐる して酸減せしめてゐる して酸減せしめてゐる

◆矢中快輔氏(満洲棉花)八 ・ 日本京ヤマトホテル ・ 三輪醇一郎氏(三井物産) 同園都ホテル ・ 高波安千森氏(護順セメント) 同園都ホテル ・ 高波安千森氏(護野セメント) 同時正夫氏(浦洲糖金屬) 同時正夫氏(浦洲糖金屬) 同時正夫氏(浦洲糖金屬)

高職間就在を受諾するものと 独変みたので、 勝京後は電板 を披運し、それで、意見の一 を披運し、それで、意見の一 虎門砲臺防備に ケ脚増援 

「東京國通」 松岡浦錦橋教は 「東京國通」 松岡浦錦橋教園に 「東京國通」 一時解訟したが、 「東京國通」 松岡浦錦橋瀬は を訪問、新任の挟後の大人間通一松岡浦等勝周に不関連一松岡浦等勝周に

最高

顧問就任受諾か

松岡總裁東京發

本大都線の原脈を撃滅 た、また五日竹内部脈の一部 化の實績をあげてゐる 「一帶に帰居する匪賊婦 四日片廣都際に馬翔竹の指揮 十を選集しわが軍は多数の武 「一帶に帰居する匪賊婦 四日片廣都際は馬翔竹の指揮 十を選集しわが軍は多数の武 「一一一大日級國通」わが軍は は死體六十を選集して潰走し は分散戦闘を掃蕩し山東規綱 なる巨城を指導しておが軍は多数の武 は死體六十を選集して潰走し は分散戦闘を掃蕩。敵は死體三

後牧身柄は一個精液した



【東京側通】外務省文化事業 郡は「日支提売は経済から、 たづ農薬から」をモット1と してゐるが、このほど農杯省 四ヶ原農事試驗場長農學博士 設施達太郎氏一行の北安農學 用を期して本格的に北安の。 民指導に當ることになつた、 七日四ヶ原農事試験場に同様 土を訪ねて北安農業開設に同様

N

御買徳品揃ひの

奥服の大見切

即召、訪問着、大島 人組着尺、コート標 外他、網モス其他 〈三側から五割引〉

イシャラ 足・組)寒 戦っ

(一階)

北支農民指導

四月から本格的に

受職副新につき大の如く 内外各方面と繋談を重ね ある伊藤城史公使はドイ

社

說

英、佛どの諒解説の

兩手無し一本足の

傷病兵慰問婦

政府の委囑で中山氏全國行

灰脈者の極に違い、最近調査 変更者風絨縣下の農民は連年 安東省風絨縣下の農民は連年

鳳城縣窮民に

ある、またこの問題につき が関に何等約束したことは が関に何等約束したことは が関に付等約束したことは が関にでは、また他頭の問題解決 のため米國海軍の後助を考 のため米國海軍は他國の の高解を有せず、またかよ の高解決 できて、またかよ を できている。 できてい

米國は自力で防衛に當る

【東京関連】関家總動員下の

ごして教授

**工斯防疫學等** 

米提督否定

京都帝大、大阪女子醫真、京 京都帝大、大阪女子醫真、京 が、秩来の醫師開業の免許状 は平時の診療にのみ許される もので現在の如き非常時局に 言つては瓦斯防護法の如き察 会療法を會得する必要がある

赤軍部隊叛亂

軍管區の

こ本す君で安職持いた認たのの善 と講ら平あ定つつてめ説いのあ方 を替まれてこのにののあ方 発育共のま力こと確は彼はり法

んり表話の心にをつが局げい最合きいとれ質

便通なよく

春の御召り

ハ入荷致して居ります

い流行の柄が

THE STREET STREET 物は先づ村岡の時季になりま し重荷になり のウ

セジVや伊藤 る

さである。そしてこの製動で数行しようとしたものであて、この暴力に数及するのでは、ないかと觀測されてゐる状態である。 関海軍作職部長リー提督が先 国海軍作職部長リー提督が先 を がイソル大佐の使命公表を 技絶した結果俄然議會方面で 英米海軍提携説が喧侮される に至つたが、リー提督は七日 下院海軍委員會の常上右の誤 解一着の偽強言を求め「か」

眞相を發表せよ

米下院議員決議案を提出

『ワシントン七日 整腹通』 進一歩 演演員サー・スポン氏は七歩 演演員サー・スポン氏は七歩 演員を観光につき 貫相競長を要求する大の決議案を提出した

政府の外交政策の目的如何に開し目下米國民業の間には非常な混亂が騰されてる。 右情勢に緩みル大統領 である である 東京 には適用して極東には適用して極東には適用して極東には適用して極東には適用して極東には適用して

一、今回調會に提示された
と大統領はジョージ。

「大統領の議事の監督の意論の方面には対
が、然らば右年度には対
が、然らば右年度には対
が、然らば右年度には対
が、然らば右年度には対
が、然らば右年度には対
が、然らば右年度には対
が、がらばれたか右は将
「、ル大統領はジョージ。
にに政策がが孤立政策を果して
・ 本の職争の意識が五年のか
「、大統領はジョージ。
「、英傳南國政府との間に
「、ル大統領はジョージ。
「、英國政府との間に「特職であるが、本に「一方ヴースオフ議員に呼職
「一、英國政府との間に何等」がの意解が存在するか、本に「大統領海軍を外國の間に何等」が存在するか、本に「大統領海軍を外國の間間発
・ 大統領海軍を外國の間間発
・ 大統領海軍を外國の問題を対
が存在するか。
「大統領海軍を外國の問題を対
が存在するか。」
・ 大統領海軍を外國の問題を対
が存在するか。
「大統領海軍を外國の問題を対
が存在するか。」
・ 大統領海軍を外國の問題を対
には
「大統領海軍を外國の問題を対
には
「大統領海軍を対
」
「大統領海軍を外國の問題を対
」
「大統領海軍を外國の問題を対
」
「大統領海軍を外國の問題を対
」
「大統領海軍を対
」
「大統領海軍を外國の問題を対
」
「大統領海軍を外國の問題を対
」
「大統領海軍を対
」
「大統領海軍を外國の問題を対
」
「大統領海軍を対
」
「大統領海軍」」
「大統

文那側に不利

取

協和會特訓課習 を整でたびく、調演してある書びを皆様に講演し張い信念が如何に喜びであるか、哲学のであるか、哲学のであるか、哲学ののと思います。 らは真寫お

O 奉天株式 寄付 定

鮮魚小賣相塲

三元枚

\$0,NEM.MIS

**手形交換高**(八日)

**700000** 

张宅)教 授

深町病

壮 會

下名 い室で料理の眞味をの大勉強!二階十室 35

試

さ中に 純綿純毛製品は近〜無〜 思切 なら 0 とする折柄 かる諸物價品騰の

つ T 期末在 掃を計る弊店獨自 の英斷的大見切

三割号 二割号 1 1,90 1,50 0,50 8,00 1,80

(地階) 二割引 2.95 0.45 1.10 0.50 1.05 0.50 0.50 7.05 7.05 7.05 7.05

国胸軍體長身項 DCBADCBADCBA日年 齡

### 新京中學校沿革史 (-L)

## 仲育、衛生には特に

の其の面目を改唱並に體力測定器

1 年度中使用

一八字の桁劣る鉄龍は調査人 「員少きため信を置くべきにあ らざるも、十二才より十六才 をでの調査状態は調査人 をでの調査状態は調査人 をでの調査状態は調査人

裕元に

寒氣がしたら

感冒の兆

ハクションと咳が出て

間違つると危險

日滿民刑事訴託顧問及確定貸家貨地管理

儲書類作成日滿鮮通即

滿洲四哨標登錄

辯護士黑田實法律事務所

日本福通上り京的人一丁新京朝日通三十三番地

電話(多五四四九番

が高いので手當を

術題域中特

22-II

を起し易く死亡率

# 市交通の強展に割れている。

戦功を秘し口 天晴れ少年航空丘 洛陽空中職

建設處設置

貨激增 鮮線の

大人一、三六四 五四六、一〇〇 一二二七、四六四 四四一、六九九 三七四、三二五

3E=

急こ時下足数 切し無明察上 数と表現本報 数け場高込施

日本 大月 80 しまを示さ れ後 1 概ひ

.50 1.00 2.00 3.00 5.00 10.00

**然 銀 章村順天燈** 

在

岸

豐富

時外文具別、推奨が全部収集へ介之後を多少に不夠領

-31

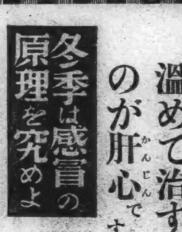
一月末現在の社様、関線、北 一月末現在の社様、関線、北 に対力を示してある、右は特 の微州を示してある、右は特 の微州を示してある、右は特 の微州を示してある、右は特 の微州を示してある、右は特 ので、内護を示せば左の に対力を記しまった。 にはしま言

法院会制定の件 、 本天市中央市場建設及び の件 の件 、 本天市中央市場建設及び を表示市中央市場建設及び を表示市中央市場建設及び を表示市中央市場建設及び 市火鄉場使用條合制 衣及び産汚物取

婦人病院條令制

化話

一洋栗萬能であった影響にて、感冒の性別なるものは、数年前まで一般の関係を対した。それは、反對にたのからになりました。それは、反對に知識となってゐたところの「皮膚の原因なるものは、数年前まで一般の原因なるものは、数年前まで一般の原因なるものは、数年前まで一般の原因なるものは、数年前まで一般の原因ならの観点を対した。それは、感冒のの性別を対象にほろほされてしまる。が、クテリヤの鑑食に因る障害であるといふ動が明白になり、随つて、どんなにに一層の温度を加へ保たせ或る障害である。中特別は非常に良い要でも、汎て一種の作用を強要が、保温の要物として、どんなには一種の性別を強要が、保温の要物として、他の作用を強要にあると整温上昇のほか抗菌として、他の情別を強要にする対がある。然もの情別を強要にする対がある。然もの情別を強要による対がある。然もの情別を強要による対がある。然もの情別を強要にある。然もの情別を強要にあるとをは一般野歌による対がある。然もの情別ないたいとは地野歌作用がない。



温めて治す



是非御來店の程を1

100年

:行

冬

の御化粧料

ペーラム・其他各種 築変クリーム・乳液

ス・シミ等は完全無疵にお取りします御化粧の御指導を致しますホクロ・ソバカ女に最も適した化粧料を御撲びして懇切に女のお餌やお肌はあれて居りませんか貴

大谷鑛業製圖社 谷 1年(3)六五九五



衣

巧



新京東二條通四一

酒保 用品 卸 天鵝用三河町二十九海山 ダイヤ街通(老松ビル二機) 老松美粧院 て居ます 秘密機會出始發 洋和 服服 質

吉野町二丁目裏小路東二條通り入 柳屋衣服店 店

香二五一三(3)電

美容の秘訣・

ップは前のそれに比べて関子 たないつでも頭の場合と全く同じ たないつでも頭のメーク。ア

姓をしてゐる家族が

ことになったとこ

化粧映する艶肌に

東京

上野富土子

本中の盛の量の量の量

で観に対数りがいました。おして観に対数りがいませるがいませるが限がった。おした。おした。おした。おした。とのでは、なってとてもなってした。とのでとても認かったシェが

かりたいととうででは、 一般の中かけます。 一般の中かけます。 一般の中かけます。 一般の中かりましたが、所所の作性 が関うでありましたが、所所の作性 にしたが、所所の作性 にしたが、であるのでこれがな

他いっキピと意味ができなか からないました。なか

「(日 歴 水)

手の掌 でふさいで相手

その趣旨に規則内容



新 お

L P n

と鼻の

便利な接ぎ方

早く接が合はせて乾かすので せルラックの糖接ぎが便利で す。これは割れた兩面を火で をルラックを塗り手

れた火鉢の

清く明るく上品な

粧

講座

に春の時

はさ

化"

の秘訣

一番大切な地肌の整容は

からして白く美しくする

神がをこらされますが、今年は郷存館の標に恥受 すから、鰡り墨手すぎたり、くどすぎたりするお 他類は腹心出来ません。

ふ 和 新京放 後周 」

BKコドモ唱歌歌 BKコドモ唱歌歌 コドモの新聞(大適)

また解釈、以釈もほんので、他にアッサリと脱いまた解釈、以釈もほんので、他にアッサリと脱いなます。

表に二十四、五畿から三二、三畿の影幅方です

**尿無線** 

は新りません。で光づ脂類のないがは際に他駅で楽として中間であれることです。そして中間であれることです。そして中間であるのも取りのないますからあった。

電話の送話

黴菌がウョ

吹

出物もとれ艶肌

群馬縣

宮田梅

□ (東京・新京)
□ (東京・新京)
□ (東京・新京)
□ (大連・新京)
□ (大連・新京)

野村 宮岡 上森

を忘れ

平以上同じ

働いた百姓

荒肌とシ

ニュース

が、この年代になりますと階がでもが小肌は気る い色黒顔も白く

るいた時の順的を置ひ、的歌は歌くはたく使に、ひます。でお他歌するにも自然や紅はなるべく明 のご合は自然に難じる概な楽しさがあるためになれ他歌がしてみたくてならないものですが。 教明から更要謝までを三つに分けてお隠し申しげ教明に、そして日富な感じの出るお代釈法を、素 そこでこの非常時の初春に花雕しく、標準に、 八、九齢から二千一。二歳まで かあるために鍵 、年頃からくる潜かいたよさを変現する様正式されかつた自然般は何はず、出いものを得ぐ、ぞしてすから 繰りわざとらしい技巧をこらしたり、他が なければなりません。

がしている。 が、中のは他に多い小は一般に関しいニキビ では数めません。所へは常鮮時代に関しいニキビ がは数めません。所へは常鮮時代に関しいニキビ 然と何と軽しましてもからみました数、一緒が、 智家既にあって誰がにも手軽に向自 簡素として盛に新州のレオ せん。先づ是らはお地様の部にキレイに動物い

を 他の自いがでも多少型すんだ殿が出てくるもので にまりますと肌の酸へは一部でく、またどんなに にまりますと肌の酸へは一部でく、またどんなに との部分が取りる質やを観覚しておかれる薬が過ぎ 元氣な僕等の 番なかよし



合

秀

請

油



で間性が品には必ず保護 の商性文の際は必ず時計 の高度を削します。 下さい。担輪でしたら 版か系で指を計つた寸 版響きに例へは観尺何 寸機何寸何分とお應さ 下さい。

日本の の別金の場合は必ず振響 の別金の場合は必ず振響 の別金の場合は必ず振響 の計五数 四十五数 四十五数 四十五数 の別金の場合は必ず振響 に関ひま ・ 金部体所好名はハッキリ 四二日丁二町東子 店計時口出 東京特製

本演练ーケ及二ケ入 サンプラチナ立爪指輪 サンピー手影高級指輪 水,一,二,三,四共 特别大特價各二個八十錢



四

保

都市大流行の 戰 勝 形 (一部) は界店駅等の 大特責品(ス共通) ペツクステンレース 文字板台字金字共 細質解ない大阪秀品 十型十石 九加五十段

語 合

寶

對

2011年 図版七石・一個人十段 同島級十石十二個五十段 スイス十五日十四 四 クローム北京 便重七石 八 同 同 十石 八 関連 七石 八 間 十石 光 間 スイス十五石十三 間

證時特

保

大!!

壹百個限り 大特債 六圓五十錢 する以外にない事を温はねばるならば正にこの部分に於てるならば正にこの部分に於てるならば正にこの部分に於てるならば正にこの部分に於てるならが正になる。が程度

連輸公司機

クに依る

職寫・代書

たい、なの小説中にある。 大田 にいふものの近野異色ある一篇として一臓を築め、 おのいのちを苦命とあきらめてなたとの大きなりまとく、相当の出来要えとは受けとれる。 たっしゃりもよく、相当の出来要えとは受けとれる。 たっしゃりもよく、相当の出来要えとは受けとれる。 たっしゃったい 須持になってしまってあるのではないかとして甘い 須持になってしまってあるのではないかとして甘い 須持になってしまってあるのではないかとしておいいか。 おりまれたる。 大田 にある 一葉として一臓を築めてならぬのである。 「世界である。」 「世界である」 「世界である。」 「世界である。」 「世界である。」 「世界である。」 「世界である」 「神界である」 「

本漢別 (二月號) 本漢別 (二月號) 本漢別 (二月號) 本漢 (二月號) 本漢 (二月號) 本漢 (二月號) 本漢 (1月號) 本漢 (1月號

派遣婦會

相談婦會

を削はず敏速に御荷

んま

五六六九番

大和語の一人の一堂

第(の)問題正二部

九州堂寮院 九州堂寮院

綜合教授

**無照引受 二素公司** 

(四) 二七四七

たま

**屋知愛** 動語®電腦組織 新工廠等工庫

荻本電話店

電話及金融

金融即時・長期秘密

(質用の方は) **荻本電**話 (6.6.2.6.5) **荻本電**話 新京入舟町一ノニニノニ

ロシヤ菓子

貸出勉强

極く简単

時代を本での)

た。それはあ

本 の 
現 の 
現 の 
現 の 
現 の 
現 の 
現 の 
現 
ま を 
れ 
ま を 
れ 
ま を 
れ 
ま を 
の 
ま を 
の 
ま を 
は 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を 
ま を を 
ま を を 
ま を を 
ま を を 
ま を を を





新潟。直射 丸 (月三旬) 一年二月より三月迄毎月三回

(月三回) 十一日、廿二

社會式株廳金和昭

大宴会場と

貸二棚門、/運用棚間三 

明司、神戸(大阪行) 明司、神戸(大阪行) 東京 河丸 ニ 月十二日 東京 河丸 ニ 月十二日 東京 河丸 ニ 月十二日 東京 海 丸 ニ 月十二日 東京 施 る丸 ニ 月十二日 東京 株 東 ニ 月十二日 東京 大連田原) 一方 で し 、 一月十二日 東京 大連田原)

三人及基础出现

三共洋行

京大經路四二

合合合合 等三味線 市野屋樂器店 京町屋樂器店

自動車賣物 回喜帜

電話金融
低利で厳速に 白金·金·銀高價買入 橫濱屋質店



二年三十和昭

て了つたやうな気がした。私は今迄の幸福が急に逃げて了つたやうな気がした。私は何か言はなければならないと思ひながら。何を言つていくのか分らない程の寂寞感といいった。我は日の前が急に眞暗になった。私は日の前が急に眞暗になった。私は日の前が急に眞暗になった。私は日の前が急に眞暗になった。私は日の前が急に眞暗になった。私は日の前が急に眞暗になった。私は日の前が急に眞暗になった。私は日の前が急に眞暗になった。私は日の前が急に眞晴になった。私は日の前が急に眞晴になった。私は日の前が急に眞晴に りました」 が成は叮嚀におじぎをした がは、大人使こそ……」 

てたまらないといふ風に、夏 「桐波隅から隅まで譲んで居るつた。私はびつくりして翻を 好きである。したがつてあの突然解枝たちの笑ひ壁が起 僕は探偵小蔵を顕むことが 冬夜雜記

くゑみの通く、

兵士思へばとにかくの愚痴は言はでと

見の墓碑名灰たれの悲しさ多の夕べつ

の言葉かき終へとこのへし慰問娘へそと

さかつて久しいし、僕かずかつて久しいし、僕か 仲◆複雑な智力による。 その大部分の理由は、 その大部分の理由は、

のつがそしふのでのようななない。話での



歌話會歌會

市、曾貴三十銭、詠草一首特から大興ビル食堂で歓音を催

であらう。 (二、五) であらう。 (二、五)

門及帳簿 一友社 新③三四二四

海專門 笠町三ノ-内権なやげ電話即時能達

就所 五丁目六

十八番地

ラック 古光堂療院

編町三量(8)二六八号 小原整骨院 小原整骨院 吉光堂療院 灸

効果確度御試薬を云ふ 効果確度御試薬を云ふ が、と、神経 編 特効學安心散

三気年式っ

(四) 田田田〇 人婦は一組卒業 料设二五年美

出前迅速 7

えた人物

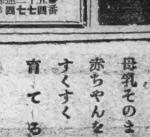
になっさ

今辨慶整骨院

冬物 大見切 益 豊 貿 店 = 200 = 1 = 1 = 1

お訳物は









そかに心に決めて

速れそいろふ公園の檻のもとへと の頭れて身ぶりにほえる 属車呼べば鞭たてくるに 非常時の統後の恐悟

便りに並ぶ酵句は非常時でふにつくさ

の言う頭を向

の選一 丸八流: の神祉東一丁 地東一丁

本門の雷店に限る ニノ・近 編化し易く用 の百貨店

自屬會

九二三十九ノ

宋松·接骨院 11110三零

女給墓

はなっさ 電の四七七〇

みどり茶園

替つてヴァン・ダインの探 (小・大きないと思ふ。それに 反してるないと思ふ。それに 反してるないと思ふ。それに 反してるないと思ふ。それに 反してるないと思ふ。それに で日本の探偵小般論を 職 なっささかルーズになつ てるるやうである。むろん本

確と

てゐるやうである。

お茶と

出內



▲表彰式』 **築**狀謝狀會杯授與 宮上書朗讀 宮上書朗讀 四、聯合分會長訓示

御言葉傳達式、表彰式を舉行

同團結實現す

した、即ち昨年三月會計係金の馴果伏田は犯行一切を自供

團體

## その名も。満洲國防婦 四月三日期し發會で

郷軍でも奉祝行事

四、服髪は白色エプロンに満にして本會の飯旨にとなる解人にして本會の飯旨にとれて食せしめ、質問せし者は入食せしめ、質問せし者は入食せしめ、

に防止せんとして原因密朗内でなりざる問題であり常局になからざる問題であり常局に

三、皇軍論別日 名墨の嚴傷を受けられた白名墨の嚴傷を受けられた白名墨の嚴傷を受けられた白名墨の嚴傷を受けられた白名墨の嚴傷を受けられた白名墨の嚴傷を受けられた白名墨の嚴傷を受けられた白名墨の嚴傷を受けられた白名墨の嚴傷を受けられた白名墨の嚴傷を受けられた白名墨の嚴傷を受けられた白名墨の嚴傷を受けられた白色。 一年後一時より當番櫻木分會體育聯盟のもとにある清水協会にて指導、記念公會堂に 一年後一時より當番櫻木分會體育聯盟日中主事との間に 一年後一時より當番櫻木分會體育聯盟日中主事との間に 一年後一時より當番櫻木分會體育聯盟日中主事との間に 一年後一時より當番櫻木分會體育聯盟日中主事との間に 一年後一時より當番櫻木分氏。 一年後一時より當番櫻木分會 一年後一時より當和 一十三日午後四時二十分看列 とに六日率天清水協會木谷氏 り本 をに六日率天清水協會木谷氏 り本 をに大日率天清水協會木谷氏 り本 をに大日率天清水協會木谷氏 り本 をに大日率大清水協會木谷氏 り本 を成り本る三月から一元化 を成り本 をは過去に於て再三協議を置 をに大日率大清水協會木谷氏 り本 をは過去に於て再三協議を置 をに大日率大清水協會木谷氏 り本 を成り本 をは過去に於て再三協議を置 をに大日率大清水協會木谷氏 り本 を成り本 をは過去に於て再三協議を置 をは過去に於て再三協議を置 をは過去に於て再三協議を置 をは過去に終することとなつた

國婦支部の諸行事 料として多数添加を計り、日本行ののでは、日本のでは 他有志、御送り順天分會其

多庭<br />
からも呼應

到員へ

滑水協會、氷上

捕に至つたものである 捕に至つたものである 小學校ホッケー

を町校3ー1白菊校 ・地第二日は入日午後三時より室町校で高等科第一回動を 行り室町校で高等科第一回動を 戰第二日目

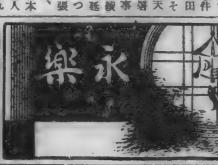
会は二鵬七十五銭である た、なほ同線は一日一往復料 た、なほ同線は一日一往復料 た、なほ同線は一日一往復料 を、なほ同線は一日一往復料 線十日復舊 新京、伏龍泉バス

營業部員見智募集













呈軍の活躍に感激

乗換へ東京駅着は同日午後九 神戸入港と共と特急つばめに にて神戸に向ひ、十四日早朝◆

本均指数を百とす)これを五 大賞日別に対前月比をみれば (大賞日別に対前月比をみれば (大賞日別に対前月比をみれば (大賞日別に対前月比をみれば (大賞日別に対前月比をみれば (大賞日別に対前月比をみれば (大) 1000 (大)

安戲院の

うやら天世

力をつく

大谷智子裏方

生計費指數

勞作資金を献金

谷地童子團員の純情三百圓

全流各地で講演

内山完造氏

體育館設計に

南(3)六九三八番

氏招聘

招き中山技師と共に構造がの青年技術者宮地二郎のて居るが今回新に東都ので居るが今回新に東都ので居るが今回新に東都のでは、

| 大端州岡體育保健||

会計係一名

サビス係三名

の害体へ等も判然としてゐな、へた針供養も近來は日本精神 も此の日はは一種の時間をか 做って行はる だんあまり映畵とお問

飲食品費安に基く交際費の低落な 落によるものである

一月指数

京樂生堂HS線新京療院 新京線門ニ四(西本園寺西崎へ) 坂膚病、蓄膿症、結核病 淋病 其他淋毒性諸疾患はれ情)

外成犬の吐、牝谷二頭有り選定隨意石生後、四十七日牡、乳(六頭)生後、七十日牝(二頭)生後、七十日牝(二頭) 新洲軍用犬協會 京支部 意語の三〇六〇書

辱知諸彦に御通知申上候制生前が旅中の處斃石効無く二月八日午前の處斃石効無く二月八日午 

一、年齢二十三歳迄の男子若干名
二、身體强健志操堅固にして永動し得る者
二、身體强健志操堅固にして永動し得る者
たし
たし
たし
が京興安大路ーー六歳
たし
大し
を
の上面會日追て通知す
たし
大し
を
は
の上面會日追て通知す

仔成犬安價分讓

石愛犬家に譲る

正にもち一つ新しい苦野素灌え事 に一倍強くなりました。その上。

用の上、一刻も早く快心の結果を得られたし。は各大學病院を始め著名の泌尿科専門醫にまで賞用さける。使用法も頗る簡易なれば、未實験者は速に之を使ば各大學病院を始め著名の泌尿科専門醫にまで賞用さける。

之助兄無との父際を、どういふした。といふのは、是から先。

にすれば重いか、といふことであ

あんまり聞てもお前数さん。大事 の端を訪れて行ったのです。 ・

高の呼吸が衰しさらに関えます。 その後の、まつほな家の中で、

が繋で、突厥をつづけて行ける優といふことを思へると、疑所進む

中華十本人(明了修修及財政用)

發责元

友

田

合

| 一本人 (野子機性及真容可用語) | 一本人 (野子機性及真容可用語) | 一本人 (野子機性及真容可用語) | 一本人 (野子機性及真容可用語) | 一本本人 (現 ち 田) | 一本本人 (現 も 田) |

IEOO O円七五

三四五〇

(新發代用は一個權)

ウラルゴールの種類と價格

いふことをあっると、 競別はな

お、他然院の路上から得え出った

ないなと、りょうで、 ないなと、りょうで、 ないと、 と、 ないと、 ないと、 ないと、 ないと、 、 ないと、 と、 ないと、 ないと、 と、 ないと、 と、 と、 と、 と、 と、 と 、

ぬほどに、陰既し、一下日で

自能震観アです。三つ返事で夜後つ

舞路付は、果して靴の手に渡っ

「サア母(してお供れ、間段々やけを展別しました。プ

解り施丁を振り逃されるんだ~ 情ろしい殺人が乘込んで来て、

事の諸島も亦木品の大なる特長である。 原法も顧る簡潔安全、携帯にも運利なり。之 用法も顧る簡潔安全、携帯にも運利なり。之 用法も顧る簡潔安全、携帯にも運利なり。之 の方をという。 のうという。 のった。 のった。

だりたよ

謎の風土

そして 整い味 高雅な香

は、一日歌だらうです

お傷に急き立てられ、との所、いり腕丁を振り逃されるんだよし

に唯口他がつて四る場合ではなか

お彼さん。 夜逝げをするんだよ

れが、食るで三人を限って異るや

森るに遠ひない。と思ふと、彼ら 爽之助や長七郎が、必ず漂込んで

の解に独げ出したのでした。 教師がの解に独げ出したのでした。教師から解にお供け出したのでした。 教師

の名は、お飯と云ふのです。 海戦へ

空しく引張すより外に、分削の

[(人)]

は、戦手古解の騒ぎが始まつて日の間川の、彼の様しい熱調の家で ローク版歌ー」 アルシャン・アン 盤がみをして口慣がっても。 之 助

れが、まるで三人と戦って、一人と戦って、一人と呼きつづけます。そ 第と英之助兄妹とは、 郷郷の **酸び脳に関 ちられてしまひま**し たるばかりでしたい 優かに射して来た星の光は、

おい、不協のロから被害が漏れて ははい能くでたまりません。 が、不協のロから被害が漏れて

製法特許ウラルゴールである。多年にわたり苦心研究の結果、創製したのが、日、英、米、佛を根絶し、真に再發を防止すべく、各事門家の指導協力の下にを根絶し、真に再發を防止すべく、各事門家の指導協力の下に

(入院) 確意)

世紀三一三七年六古日本福通郎 単海島

醫院

を得くに強れる側は少からず。
を得くに強れる側は少からず。
つひに神疾は不治にあらざるかとの疑ひしかして治療自教の長計くに從ひ、患者は不嫌症を進し、飲酒または時候の

性的

小兒科 痔疾科

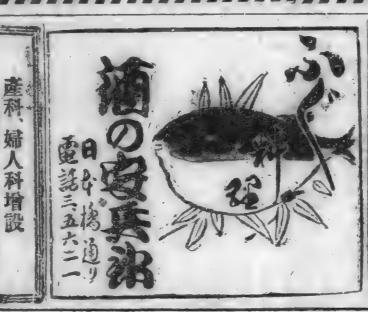
B 英

**多下上町駅** 多六九〇五日海

初感染と慢

新京吉野





「、優性、或は再發性の患者には、最初に短優を、未ずに中華を使用されたし。」 「優性、或は再發性の患者には、最初に短優を、未ずに中華を使用されたし。」

(設備作用は一本にて三時間より六時間) (使用に要する時間。一本僅か二、三分)

を消退し、

應

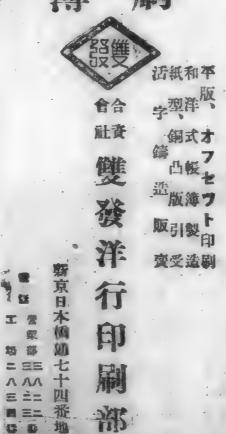
再發防止に奏效するのである。





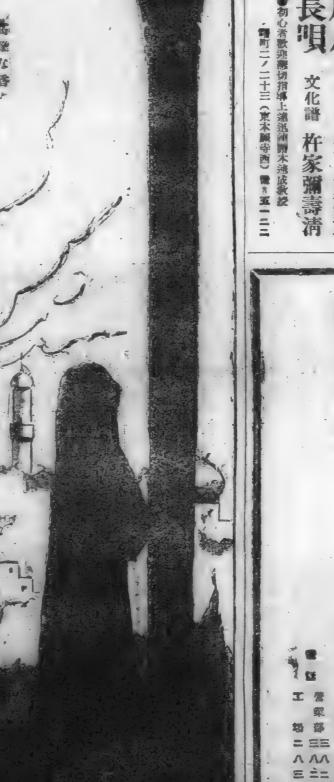








防ぎますから 感冒薬が往れひを起こ十胃腸障害を **業養を充實して、** 恢復力を强めますか



新灌起するやも別れず、不穏 をかけてゐるが、特に関民黨 等は全國的に反蔣運動に拍車 等は全國的に反蔣運動に拍車 が指出主職派對平和 では、何時如何なる衝突、 が、特に関民黨

の整領は階強し人心極めて動 はすでに反動的色彩を命ぜら れた腹東軍百六十幅強緩の部 に包繰してゐたゝめ北上の途 に包繰してゐたゝめ北上の途 に包繰してゐたゝめ北上の途

出動の廣東軍突如武裝解除

隴海線支那軍

御風氣のため行幸御取止

代として鉄父宮

敗走の支那軍廿萬

九

通識したる職能は左の知くで で開かれた監例影談府資議を

る兵事行政執行に酬する件一、個盟師の審護内に於け

大日午前十時上9午後二時定例多談府會議

正の件 七、國務



### 生 最 高 對支政策に き

顧部その他要人と意見を交換 の支持をうけて情勢観察の初 殊に関西財界有力者 であつた現交通部水運科長島妻、かつて平生氏の門下暦生

日補連務機で京城に赴き南瀬 猫軍人會館に一泊の上、干 梁京の平生釟三郎氏は九日

報によれば、張素 をめぐり四川省の をめぐり四川省の

らびに軍費を職予押收して襲 されてある場群の武器弾動な されてある場群の武器弾動な

張群

の主席に

王琰緒軍長等斷乎反對す

利嫌氏(信更)同富士ポテル

2氏(昭和製鋼所)2氏(昭和製鋼所)

郎氏(同)同

場け後に於る上海 機様なる外を問め に列國大使との形 わが方としてもよ

\* 「北京八日登録通」年生元文 お北京ホテルの一筆で左の如 北京出發を前に 平生氏語る

海方面外交處理に當ら

正のしたので、 現地のが のしかの がありが がありが でい、 交に で表で でもいる でもなる でもなる。 でもなる でもなる。 でもな。 でもなる。 でもなる。 でもな。 でもなる。 でもな。 でもな。 でもな。 でもな。 でもな。 でもな。 でもな。 でもな。 でもな。 でもなる。 でもな。 でもなる。 でもな。 でもなる。 でもな。 をもな。 でもな。 でもな

敵陣を猛爆

【蚌埠人日和國班】八日午後

野男夫氏(官吏)同機都 の郡氏(同)同 都四郡氏(同)同 都四郡氏(同)同

田小太郎氏(日本フォー田大郎氏(大倉市事)同一大郎氏(大倉市事)同一

《郎氏 (南) 同 配氏 (浦鮮坑木) 伺

の氏(東洋鋼材)同南

白鳥公使は

日テロ園の

銘仙エプロ

H

確似にこの大陸の上に強大されてゆく 

川軍等計萬餘が駐屯すると思はれるれた舊韓復榘軍、南京ならびに淮河南方より潰走した蔣直系の中央軍及び四沿線に沿うて徐州に集結しつ1あるが、目下のこころ徐州附近は山東を追は沿線に沿うて徐州に集結しつ1あるが、目下のこころ徐州附近は山東を追は「蚌埠九日發國通」江蘇、安徽の野を驅逐された敵は淮河を北に渡り津浦線

北から南から悉

**釆漢謀ご吳鐵城** 

に乘出す

津浦線の破

極東におけるソ聯の航空兵力は約千五百機で主に沿海州方面に配備さ勢についての質問に對し左の卸く答牒した

**爆酸點に達せんごす** 

本親善に拍車を加へる脚隊人形は首星式を駆けて を進行し此異難殺飾り十組それに揮毫した豪華なもので たのを荒木、川島廟大將かと机に揮毫した豪華なもので 来る十七日東京日比谷へ會堂にて盛大な贈呈式を駆けて日 を事になつた(宮護は出来上) ・ 選集がへる明朝する。

「ソ聯視察後の失望」を設まて、 ・ 「ソ聯視察後の ・ 大望」記録表 ・ 大望」記録表 ・ 本が、クレベ・ルゲーは最近 ・ おが、クレベ・ルゲーは最近 ・ カーラシス監局の顕版を受け ・ ルゲーは最近 ・ カーカーに登表さ ・ カーカーに登表を ・ カーカーに ・ カーカーと ・ カーカーと

十日午前十時赴任中島天津司法領事

主なる放送

の密慰を語る」 海軍少の夜更けに、外」の夜更けに、外」の夜更けに、外」

の新京總領事館司法領事中島 B本納領專館司法領事に築動 在任二年幾多功績を發!天津

徐市長歌兴兎狩

ない。 は、こ、三等住作三十四届 ・ 、二、三等住作三十四届 ・ 、一、三等住作三十四届 ・ 十四日海三中井五階に終てこ ・ 十四日海三中井五階に終てこ ・ もこと」なった、一般市民の

八日午後十時頃市内羽衣町四 元炭倉庫に於て怪しき物音を 場きつけた折柄病氣静蘂のた 徒山奥喜助君(一九)はてつ 徒山奥喜助君(一九)はてつ は山奥喜助君(一九)はてつ が離省中の公主衛の農學校生 母

會結成決定につき國际婦人會朝刊配報の如く精淵國防婦人

りわけ治外法権の撤録の存在 来の並立的関键の存在 本の並立的関鍵の存在

國婦幹部の抱負

係官現場に急行檢證の結果、 下本央通署で取調べ中である。 場にぶつ倒れるや驚いた喜助 條通百川醫院に於て加撥中で 場にぶつ倒れるや驚いた喜助 條通百川醫院に於て加撥中で のたが切先は背部に深く斬り 泥棒は河北省生れ住所不定無

泥君は満人で重傷

紀元節拜賀 新京北安隆五〇一に在る日本 赤十字祉満州委員本部では來 る十一日紀元節拜賀式を午前 十一時から十二時迄随時行ぶ ことゝなつた、因に何拜賀式

石炭泥を斬る

外交團を招き

賣煙草値上

満洲人の買占め

値上げの報に确潔洋行で 邦商は上げぬ 満泰洋行主の話

明治維新に還つて

話は聞いてあるが確なとこれ、滿州煙草白梅は十二銭となったが、強力値は上つてい、滿州煙草白梅は十二銭となったが、強力を使いたなったが、強力を持ちません。

全滿に先んじ中銀で編成

南京領事館の音樂のタ 

農學生傳家の寳刀で

學校交査関した結果酷寒を物 學校交査関した結果酷寒を物 たもせず触學を續けてゐる生 に相應しい講演を行ひ更に一 に相應しい講演を行ひ更に一 に相應しい講演を行ひ更に一 ととなつた

藪之本、清川

カルロ午前中市公署用度係主任 酸之本松示氏は令息の忌明け に三十頭を市の社會事業聯合 會に容け、清川順平氏は令嬢 の忌明けに四十週を同じく社 社會事業に寄附

新京北安略五〇

**清洲委員本部** 

行ふこととなった

兩氏

日本赤十字社社員二謹告

安東
瀬洲舞台焼失の惨禍は早
でなり同日午後一時から消悼
となり同日午後一時から消悼
となり同日午後一時から消悼 安東火災一周忌

一大平和郷と化すべく期待さでは一躍轟鮮農居安居衆業の下は一躍轟鮮農居安居衆業の 民生部内満州結核機防倉で一の保健住宅展 

十銭也十銭也 の方は

家賃 月七十頭也 (事務所) 所在 入舟町一丁目一六 際房、浴室

電話③五五四九番

あ

太子堂 本年遺書院職講中込台切、市 全年遺書院職講中込台切、市 公东王遺書院係 文东王遺書院係 宴樓 一時忠靈塔前、午後二時半一時忠靈塔前、午後二時半 ちり紙町全川三帝合

保健住宅設計 十一日、十二日、十三日の四日 於五階半 哥

商業美術の街頭進出に努生徒選は大喜びで今後は大宮びで今後は一大小人の強期しない反

を聞いた右翼品賣元東京田邊 中心として保健風肚劑の陳列 をして好評を博した所此の報 中心として保健風肚劑の陳列 をして好評を博した所此の報

專賣總局

自殺を圖る

特の山梨武夫氏は三日物官より事資總局副局 今朝着任

要宗を出渡、旅大關係方面に 整済各科長以下署員の出迎を 管(廿分延濟) 到車で家族同 管(廿分延濟) 到車で家族同

新春第 其他仕立衣裳見切品澤山

春向名古屋帶五百本限

二圓八十錢」の

月十三日

ŧ

7

П

0

整

理

品

大

投

賣

何處より安い
自智様おなじみの

京競賣

別市公署では時局柄金の

日か

行場附近に於て全署員奉げ

(朝京神社前) (朝京神社前)

滿洲煙草股份有限公司

會場。賓宴樓、吉野門四會場。賓宴本作成につき未入會港は此會員新名海作成につき未入會港は此會員新名海作成につき未入會港は此

未入會者は此際振つて入會が

田

田洋服 告

日時 紀元節 二月十一日午後正費を開催致し度振って御來倉を持つ戦捷の紀元節をトレ久方振りの倉員

愛媛縣人に

成度十一時ョリ正午迄ノ間ニ於テ拜賀相・田裝禮服、社員章佩用ノ上當日午前賀式ヲ擧行ス 新京祝町二丁目五 第一次 美工 上

吉野 では、一大学」へ

正午迄ノ間ニ於テ拜賀相・社員章佩用ノ上當日午前

短期宿泊縣切待遇

一品料程





服人士かのシーだけに「ないだ」 服人士のカーガーがらけってまたとした。 からの日かってする。 からの日かってする。 からの日かってする。 からの日かってする。 からの日かってする。 からの日かってする。 からの日かってする。

作品を配した二本立編成であり、製御座九日よりの番組は左の けふからの長春座

であるが、そうした意味支 であるが、そうした意味支 であるが、そうした意味支 であるが、そうした意味支 であるが、そうした意味支 松竹「新家庭曆」

第一回公演會

1 たた ージュために願ひ抜く空のレポために願ひ抜く空のレポ

●一自の人、内に在りて怠り なくば温値目の外より来る 甲宿らは

・郎太柳友大 ・助之女男川市

江主立 演平 村様はほみる。一村はほみの一村はほかり、





電楽部に同社哈爾濱第四工場 一千萬国)ではかねて藤州園 で加濱日浦製粉公司(資本金

海外經濟電報 全國 (10年人公三 一九片(14年) 一九片(14年) 一九片(14年) 一九片(14年) 一九片(14年) 一九片(14年) 一九片(14年) 一九片(14年)

た公平はた公平は、一番版とさけてあるのだ。

がちやりさ、受話器をおいがちやりさ、受話器しませう。

い、兄にあつたのだ ら、ざつくばらんに

免船却

ざ悪びさうなもの

いつじよに食事

あへたら、さこ

雪山

高

花束

0)

底

12.0,

四日より

ど ん 店 日曜は十時五十分 上り花束の夢上映

っそれもわからないのですか

新産金計畫のため

等かの解決を見るべく、労働中心となつてとり選がら出炭量の増加に対すべから、すなはち嫌道運賃をの設行に逃逃するものと強される。 すなはち嫌道運賃産の設行に逃逃するものと強をの値下げは淅洲の監視開設と対してして目下診議の場合となつてとり送からば、

政府の新方針決る

細目は未決定

社において精識の北文進出問題につき左の如く語つた 近く設立を見んとしてとなる。 変にとれば北支において精識の主義機の北支進出問題につき左の如く語つた を確立ととれば北支におけるとして必ずではから假定ととれば北支におけるとして設立するが、。 はないいが、高並の直線の上におけるの場所等未だ立たが、高端の一般が認識が、 はないいが、高端の一般が表面があるが、 はないいが、高端の上に対象の子音が認めていた。 はないいが、高端の子音が認めていた。 はないいが、高端の子音が認めていた。 はないが、高端の子音が認める。 はないが、高端の子音が認める。 はないが、高端の子音が認める。 はないが、高端の子音が認める。 はないが、高端の子音が表面がある。 はないが、 はないが、

各地特産市况

### 億増産に邁進 難點を克服

17 では左の畑の東工家の需要に無す。 からる の総州移町部可申請中のとこ てある ため石炭液化、製繊事家 で、州四萬五千種をもつて解 内追加分一千萬項の出炭を満 することに決定した、敷地は り追加分一千萬項の出炭を満 することに決定した、敷地は で、州四萬五千種を建設 で、州四萬五千種を建設 で、州四萬五千種をもつて解 内鮮 滿声を追加場座することとな 産力は一千バーレルと研され 交通は で、日本への除り なよびと で、オ四萬五千種をもつて解 内鮮 滿声 で、オ四萬五千種をもつて解 内鮮 滿声 なるの場である ロー・日本への除り 液化、製鐵其他の需要に

北 交通は日々頻繁の度を加へつ 生 日識間の緊密化に伴ひ南側の 散 私鐵も参加 設 一 大 鐵 も 参加

總局では鐵道省、鮮鐵と協議 の結果これ等私鐵の中、地理 的に滿錢と關係深く且つ內容 光質せるものを選び、內鮮滿 近く實現の豫定である、なけ 右に加入すべき私銭の選定に ついては鐵道に一任、目下同 省において漆道に一任、目下同

おける各種機道會社間に満世れける各種機道會社間に満世 能が提序となりつくあるので

各地商品市况

発験・保殿 CD

『総合教はありませんか』 でもよいのですが、さういよってもよいのですが、さういようです」

大阪綿糸

『かこへ行くさ もいはずして

で 日だ、これから食動へゆけば かもわからない……… さ、粉へっ たったなって ごろへた公不は

の直感に、大した酸りのない。 ない 大した酸りのない 職治さあつた結果を訓ねたこ は知ってゐ れは昨夜、干鶴子に その秘密を、千嶋子

きいてみたいものだ これまでの総数から

昇る太陽(後篇)

宿; 必不は直感して る = 章作 11.40 2.57 6.07 新婚玉手箱 1.45 4.57 8.12

2.05 5.20 8.35



1.25 4.17

1.44 4.38

2.54 5.48

7.11

るこごが川来たら…… 、だきな響びなのだ。 の好意をうけてくれた もし、手御子 でいつさう元気がな でいつさう元気がな でいつさう元気がな 配し、その心配を除 へるさ、公平の起さ E 120:0 300 0016 新 으스

はてるるーー本来なら、この を話も墨行がかけなければな らない性質のものだが、他人 にかけさせたのは、自分がさ

自分をさ

このをでは、道動的な根據がである。さいよこさだつた。 でいよこさだつた。

ないか。 それは、きのよの印象から をれは、きのよの印象から きのよの印象さいふのは、

1.10 1.000 7.30 百萬人の合唱 2.55 0.05 2.16 9 字 12.0. 3.10 6.20 10.30 九日より十一日まで 階下四十鏡

1.31 4.26 7.21 名の映造 ロオテソベルカの祭 2.5 5.50 8.45 嬢和 12-2: 3418 6-13 16-12 は大地で行い物里な鮮新っ

漫 京十木マ

1-55 4.97 7-98 韫 1.85 4.85 7.85 朱ご緣(前篇) 11.00 1.50 4.50 7.50 9.20 12.20 3.20 6.20

映画御東内 豊泉馴場

あばれもの 松竹楽業版 **广**两千惠跋 主演 江戶 ヤンドウの 花和尚 豐樂劇場 告

店來の人新.陣

るのも近々でありますから其の上は何卒宜敷御願致します飛行機で乘込むことになりました、國都のフアンにお目見得は、當店のマネージャーとして來店することになり、來る廿日には、當店のマネージャーとして來店することになり、來る廿日に

「この太陽」で一躍人気を馳せたる元日活スター 吟子來る

包T二町祝 を一ついた ナ頃ん



でアリマー ス、春末だ遠けれども何んとヨキ朗報ではないですかに來て異口同音、スパラシキ空想が實現したと云ふのやつて來ました應人を御紹介いたします、彼女達は憧 19 0